

| 課題番号  | 応募者名           | 事業名               | 評価者の主なコメント  | 評価者のコメントに対する回答  |
|-------|----------------|-------------------|---|---|
| J1805 | 三菱マテリアルテクノ株式会社 | 廃肉骨粉焼却灰のリサイクル技術開発 | <p>材料の問題もあるが、連続試験まで達していない点が問題である。また、リン酸肥料回収の用途は立ったのか。</p>   | <p>原料入手時期から燃焼及びバッチ熱処理のデータ取得にとどまったのが実情です。所期の目標を完成するべく、今年度も試験を継続しております。実証試験にいたる肥料登録の過程で、肥飼料検査所による確認検査に合格し、骨灰肥料として製造・販売する道筋はついたと理解しています。またより付加価値の高い用途開発も進めてゆきます。</p> |
|       |                |                   | <p>ダストへの移行分が予定より多かったのが残念である。リサイクル技術として完成するにはダストの利用方法も検討されたい。Noxの削減には成功したようであるが、ほかの目標は中途であるので完成されることを期待する。</p> | <p>ご指摘のダストは成分的にも肥料として利用可能なものであり、また粒度も葉面散布に適したものです。現行規制ではそのまま使用することはできません。ダストの移行率を低減するよう工程を改善します。目標を完成するべく、今年度も試験を継続しております。</p>                                    |
|       |                |                   | <p>焼却炉としての目標は達成されているが、焼却灰の肥料としての評価が残されている。</p>  | <p>焼却灰の肥料評価は今年度も引き続き帯広畜産大学に委託して実施します。</p>   |